

□【ケン・ブリッチくんに行く保全工事の世界】に対して

質問) 保全工事の世界の最初の事例で、旧部材の吊降ろし場所と、新部材の吊上げ場所が異なるようですが、その理由は何でしょうか？部材重量の違いか？

回答) 時間短縮が一番の理由です。撤去した部材はT型の不安定な部材であるとともに、撤去のための仮部材が取付けてあるため、トラックに積み込んでもすぐに搬出と言う訳に行きません（積み込み後の不要部材の撤去やラッシング等に時間がかかる）。それらの作業と同時並行で新部材を架設できるように吊上げ位置を別にしました。

質問) 変形したトラス下弦材の取替で、格点をばらすことなく撤去可能か、詳しく知りたかった。

回答) 以下の参考資料を参照いただければと思います（当該箇所について詳細に書かれているわけではありませんが、発表資料よりは詳しいかと思います）。

雑誌名：SED（Structural engineering data）

出版者：東日本旅客鉄道構造技術センターのNo.39（2012.5）

以上